

令和7年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 78
ID 603212

【施設状況】

グループ名称	吉田公民館、吉田老人福祉センター									
指定管理者名	吉田地区住民自治協議会						法人番号	1700150073963		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課		副	101000	高齢者活躍支援課			
構成施設	3313	吉田公民館								
	1380	吉田老人福祉センター								
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	【公民館】：教室1、教室2、教室3、教室4、大教室、和室・茶室、音楽室、調理室、多目的ホール、図書館分室、資料室 【老人福祉センター】：ボランティアルーム1 【共通】：事務室									
施設設置目的	【公民館】：地域住民の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の拠点として、より開かれた身近な地域の中心施設としてまちづくりに貢献することを目的とする。 【老人福祉センター】：高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の便宜を供与するとともに、地域における福祉活動の場を提供し、高齢者の福祉向上を図る。									
基本方針等	【公民館】：社会教育法の規定に基づき、住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するという設置理念に基づき管理運営を行う。 【老人福祉センター】：施設の適正な維持管理に努めるとともに、地域福祉活動の場の提供、生きがいづくり講座の開催等の事業を推進することにより、施設の設置目的である高齢者福祉の向上、高齢者の心身の健康増進を図る。									
主な実施事業	【公民館】：定期講座を開催すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関等の連絡を図ること。その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。貸館に関すること。 【老人福祉センター】：高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。講座等運営業務及び地域福祉活動に関する集会等を行う者への会場提供業務。									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		吉田地区住民自治協議会				当該指定管理者の 指定回数		3回			
指定期間		令和7年4月1日		～	令和12年3月31日		5年	当該指定管理者の 管理運営開始日		平成29年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。										評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)										3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
	吉田公民館 利用者数		人	29,765	35,608	34,324	34,893	102%	
	吉田公民館 利用率		%	28.8	31.7	32.1	29.3	91%	
	老福:生きがいづくり講座受講者数		人	3,203	2,919	3,752	4,415	118%	
	老福:地域福祉活動利用者数		人	56	76	365	738	202%	
	老福:グループ活動利用者数		人	376	91	124	510	411%	
	(特記事項) 利用率は、部屋別・3区分(午前・午後・夜)ごとの利用率の総平均(図書室を除く)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	【公民館】 ・公民館の利用の許可に関する業務・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務・公民館の付帯設備及び物品の維持管理に関する業務 【老人福祉センター】 ・老人福祉センターの利用の許可に関する業務 ・老人福祉センター条例第4条第1項に規定する事業の実施に関する業務 ・老人福祉センターの施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		【公民館・老人福祉センター共通】 ・公民館報 2回/年、ノルテだより 2回/年 の発行(全戸配布)。また、ホームページの更新や、YouTubeの動画など、スムーズな情報発信で分かり易く、親しみの持てる施設を目指した。 ・上記のほか、「広報ながの」「生涯学習だより」やマスメディア(週刊長野、市民新聞)も活用した。							

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		4
	(2) 調査、会議等の内容 【公民館・老人福祉センター共通】 ・講座受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには、今後受講してみたい講座の内容等を記載する欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用者には、利用簿に要望記載箇所を設けるとともに、鍵の返却時等に聞き取りを実施した。			
	(3) 調査、会議等の結果 【公民館】 実施した一般講座：18講座（40回） 講座参加者数：427人 アンケート回答者数345人 満足：81.7% やや満足：14.7% やや不満3% 不満：0%（満足+やや満足 96.4%） 【老人福祉センター】 生きがいづくり講座 7講座 参加者132人 講座や講師の満足度がともに90%を超え、受講生に好評である。			
利用者評価	(1) 良好とする評価 【公民館】 開催した各種講座の「講座アンケート結果」からは、「満足」が81.7%、「やや満足」が14.7%、合わせて96.4%の方が「やや満足」以上であり、開催講座の満足度は非常に高いと言える。特に講師、講座の内容において、高い評価を得ている。 広いホワイエがあり、可動式観覧席を備えており、利用目的に応じて様々な活用ができる多目的ホールの設備の評価が極めて高い。たいへん音質の良いグランドピアノの評価も高い。教室の広さが様々あり、使用人数に応じて使い分けができる。 毎回丁寧な対応で、当該年度中途から適用されたシステムの予約の方法についても親切に教えることに心がけた。土日等休日でも、可動式観覧席の準備やグランドピアノの設置をしており、感謝されている。 受講生の作品の展示は見えていて楽しめ、来館者の心をなごませてくれている。 【老人福祉センター】 開催した各種講座の満足度は非常に高く、特に講師、講座の内容において、高い評価を得ている。 講座の内容を充実させることに加え、広報にも力を入れており、チラシの回覧や「週刊長野」や「長野市民新聞」等への掲載により、利用者数は前年度よりも2割以上増加した。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 【公民館】 一般講座は評価の高いもの多く、「もっと学びたい」「回数を増やしてほしい」との要望が多い。 施設の老朽化が著しい。大教室や教室4の床タイル剥がれ、ひび割れ等の痛みが激しく、修繕してほしい。多目的ホールの移動観覧席やステージの吊りものの関係は老朽化が甚だしい。 【老人福祉センター】 募集は電話だけでなく窓口でも受付してほしい。 募集定員を超えて受講ができない講座については、会場や募集定員の見直しを検討してほしい。			
	≪対応措置≫ 指定管理者において次の対応しました。 【公民館】 一般講座のうち評判が高い「姿勢改善・体幹トレーニング」を成人学校で取り上げた。 【老人福祉センター】 募集受付は電話だけでなく窓口も可とした。			

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
事業収支 (単位:円)	指定事業	利用料金	1,500,000	利用料金	1,663,200	歳入	使用料	78,460	使用料	70,500	3
		指定管理料	35,411,000	指定管理料	35,411,000		雑(納付金)	1,860,804	雑(納付金)	1,971,892	
		委託料	0	委託料	0		行政財産目的外使用料	0	行政財産目的外使用料	0	
		販売収入等	0	販売収入等	0		貸付料	0	貸付料	0	
		その他収入	169,000	その他収入	252,194		その他	0	その他	0	
							利益配分	0	利益配分	0	
		収入計	37,080,000	収入計	37,326,394	計	1,939,264	計	2,042,392		
		人件費	15,900,000	人件費	15,452,641	歳出	指定管理料	35,411,000	指定管理料	32,640,000	
		設備管理費	2,899,000	設備管理費	3,021,500		委託料	0	委託料	0	
		備品購入費	0	備品購入費	0		需用費	1,532,422	需用費	1,579,690	
		修繕費	360,000	修繕費	166,100		役務費	0	役務費	0	
		光熱水費	10,330,000	光熱水費	10,407,500		使用料・賃借料	317,452	使用料・賃借料	297,032	
		事業費	2,983,400	事業費	2,939,674		修繕費	0	修繕費	0	
		事務経費	2,531,740	事務経費	2,285,020		工事請負費	0	工事請負費	3,817,000	
		本社経費	0	本社経費	0		備品購入費	0	備品購入費	0	
		その他	1,691,300	その他	1,350,100		その他	0	その他	0	
				利益配分	0				R5年度補填	2,169,601	
		支出計	36,695,440	支出計	35,622,535	計	37,260,874	計	40,503,323		
	指定事業損益	384,560	指定事業損益	1,703,859							
	利益配分を除く 指定事業損益	384,560	利益配分を除く 指定事業損益	1,703,859							
	自主事業	収入		収入							
		支出		支出							
		自主事業損益	0	自主事業損益	0						
	損益	384,560	1,703,859	差引	-35,321,610	-38,460,931					
	人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									43.4%	
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分		確認内容	チェック欄	評価	
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			館長兼所長1人(1人)、主事1人(1人)、公民館事務職員2人(2人)、老福センター事務職員2人(2人)
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☒		
		2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
	セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒		
		2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか			

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携		評価
地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由
	1 住民自治協議会の「教育・公民館部会」及び「福祉・保健部会」と連携し、共催事業を実施する。 2 吉田地区にある商業施設で実施している「ひな祭り」、「端午の節句」、「納涼祭」や「吉田ふるさと夏まつり」の行事を地区企業、吉田商工振興会との連携で行っていることを今後も推進する。 3 地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り講座の講師、公民館・老人福祉センターの職員を地元から採用するように努める。 4 地域公民館との関係を大事にし、要請に応じた指導や助言を行い連携を図る。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 66 指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携 --- 基準値
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	

評価理由	【利用者評価を4とした理由】 - 多くの講座で高い評価を得ており、開講数の増加を望む要望も寄せられている。一般講座のうち評判の高い講座は成人学校で取り上げ好評だったこと。を評価した。 【地域連携】を「4」とした理由 - 地域と連携してスポーツ大会等の行事を開催するほか、小学生から高齢者までを対象とした世代間交流事業を通じて、地域との結びつきをより深める取り組みを行っていること。 - 地域の資源を活かした環境学習など、地域力向上につながる事業を展開していること。を評価した。		
取り組み・改善案等（施設所管課）	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
次年度の目標・取り組み等（施設所管課）	【公民館・老人福祉センター共通】 - 感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 - ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 - 住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

【公民館】

・本年度も、講座、サークル、個人の作品を積極的に展示した。3Fだけでなく、2F(支所のフロア)もお借りした。特に2Fの壁面は照明があたり、見栄えするので、土日鑑賞できるように、シルバー日直さんをお願いして、日中照明を点灯していただいた。書道、絵手紙、水彩画に切り絵、写真等ジャンルも広がってきた。継続の要望が来ている。

【老人福祉センター】

・ノルテだより(年2回、カラー4P、3,000部)及び各種募集チラシを地域(吉田・三輪・若槻地区)に回覧した。また、「週刊長野」「長野市民新聞」等への掲載を通して、各種講座などの事業活動や、その他の情報を広く周知した。特に長野市民新聞は、吉田公民館の活動状況も併せて提供し、数多くの取材を受けた。

・ホームページを活用し、YouTubeの動画を含め、スムーズな発信で分かりやすく親しみの持てるセンターを目指した。

② 業務の効率化に対する取組み

【公民館】

・成人学校では、当番制を継続し、任せることができるものは、講師・受講者に委ね、自主性を醸成することに努めた。

・インターネットバンキング(八十二長野銀行)を取り入れ、給与、講師謝礼金を中心に振込業務の効率化と振込手数料の大幅削減が図れた。

4月 大教室窓修理 127,600円

12月 3Fフロアコンセント修繕 4,400円

12月 音楽室ドア鍵部分修繕 25,300円

(10月 多目的トイレ詰まり修繕 8,800円)老人福祉センター会計からの支出

【老人福祉センター】

・複数回実施する講座は、初回に受講料及び材料費をまとめて徴収する方式に戻した。安易な欠席の歯止めになり、受付での徴収作業や現金管理、領収書作成発行、経理処理伝票等が大幅に軽減した。今後も継続していく。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

【公民館】

・図書貸出し数が多く、リクエスト等の要望が数多くあり、その対応や調整に追われてしまう。

・毎年のことだが、駐車場のスペースが少ない。総合市民センター共用のため、保健センターが頻繁に子ども検診を実施する際、所長、公民館長で満車対応を行っている。検診情報を共有化して、教室利用者に公的交通機関や、相乗りをお願いしているが、対応に苦慮している。市の会議で50名以上が利用する場合も同様である。

・設備の老朽化が際立っている。毎年要望済みだが、多目的ホールの移動観覧席やステージの吊りもの関係は老朽化が甚だしい。音響機器も同様で、ほぼ修理する部品がないので慎重に使用している。このホールの位置づけを明確にしてその方針に沿った改修が必要と思う。教室では、大教室、教室4など床タイルの剥がれ、ひび割れがひどい。机を移動する際に床タイルに負荷がかかり、タイル剥がれが拡大していく。養生テープで対応しているが、机の移動でテープも剥がれる。なるべく机の移動は最小限でお願いしているが、ヨガや体操のサークルなど机を必ず移動する利用も多い。その際にけがの心配もある。検討および対応をお願いしたい。

【老人福祉センター】

・施設の老朽化の影響が出ている。特に体操等で利用頻度の高い大教室や教室1は床のタイルがひび割れ、養生テープで補修するが、すぐ剥がれてしまう。高齢の利用者なのでケガ等が心配である。

・講師謝礼は長期間、金額が変更されていない。最低賃金の上昇傾向を考えると増額の必要性を感じる。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

【公民館】

＜労務管理＞2月に館長が退職。翌年度4月には副館長も退職し、急遽、募集面接を行い採用した。ご利用者に支障なく業務を行うことを優先したい。全員で協力し、老福職員の支援もあり、ご利用者に迷惑を掛けることなく業務を実施できた。◎

＜講座運営＞地域との連携事業は予定通り実施できた。年々業務が増えるが地域から信頼が得られていると考える。成人学校は当該年度に1講座増え、6講座で実施。◎

今までにない職員の入れ替わりがあったが、ご利用者に支障なく講座や、良い施設環境を提供できた。これは不慣れな職員、ベテラン職員の精一杯の協力の結果と判断。

公民館予約システムが本格的に動き出した。◎

総合的には今回「B」としたい。

【老人福祉センター】

講座の内容を充実させ、広報にも力を入れることで、前年度と比較して利用者が2割以上と大幅に増加し、利用者の満足度も高いものとなっている。効率的な事務処理も進め、施設の目的を十分に理解し、事業を進めている。

② 次年度以降の取組み

【公民館】

・「ご利用者にやさしい公民館」を継続する。

・アンケートや聞き取りなどから要望を反映させた講座等の企画を行う。

・定員を大幅に超える申込みがあった講座は、回数の増加を優先的に検討する。

・初めての方や男性の参加者が少しずつ増えている。次年度も継続する。

・回数増の要望があった成人学校の講座で実施の方向で検討する。

・先着順は止めて欲しい、電話がつながらないとの苦情に対し、人気講座では抽選対応を検討する。

・本年度同様に長野市民新聞を中心に週刊長野、ケーブルテレビ等のメディアに積極的に取材をお願いし広報として活用する。

・高騰が続く光熱費について、情報の共有化を行い注視して行きたい。

・ここ数年、多目的ホールの空調設備交換、水銀灯のLED化、ノルテながの空調設備交換、トイレの洋式化と、市の支援をいただいた。次年度は学びの課と情報の共有化を図りご利用者の利便性が向上する改善を検討したい。

【老人福祉センター】

・アンケートや聞き取りでニーズを把握し、講座等の企画を行っていく。

・男性が参加しやすい講座を今年度以上に増やす検討をしていく。

・人気の高いフレイル予防運動講座の定員を見直していく。

・ボランティアの一層の育成に努める。

・住民自治協議会福祉委員会、保健委員会との共催事業の実施。また、吉田公民館と合同で実施できる事業内容の検討。

・講座の増加は講師料の増加にもつながるため、市関連の講師や企画を活用し、講師料が不要な講座を積極的に検討していく。

・利用頻度の低いボランティアルームを活用し、利用者の要望が多いコミュニケーションの場として、くつろげる場所と時間を提供できる企画をなるべく多く実施する。